

## 前回定例会（平成18年6月7日）以降の行政の動き

平成18年7月5日  
原子力安全・保安院  
原子力安全地域広報官

### 1. ㈱東芝に対する立入調査について（実流量試験データ不正について）（6月20日）

原子力安全・保安院は、平成18年4月20日に㈱東芝に対し、原子炉給水流量計等の実流量試験データの不正に対する徹底した原因分析を踏まえた再発防止策の報告を指示。

当該指示を受け、㈱東芝から平成18年5月18日に当院に「原子炉給水流量計等に関わる不適切なデータ処理に関する原因究明と再発防止について」の報告書が提出された。

当院としては、原因究明や再発防止策の妥当性及び再発防止策の実施状況を確認するため、㈱東芝へ立入調査を行った。立入調査の実施日と場所は、平成18年6月22日（木）㈱東芝 磯子エンジニアリングセンター、京浜事業所。平成18年6月23日（金）㈱東芝 本社。

### 2. 中部電力株式会社浜岡原子力発電所第5号機蒸気タービンの羽根の破損に関する対応について（6月30日）

原子力安全・保安院は、平成18年6月15日に発生した浜岡原子力発電所第5号機（改良型沸騰水型：定格電気出力138万キロワット）の蒸気タービン停止に伴う原子炉自動停止に関して、本日までの中部電力㈱からの報告並びに当院の検査官による確認の結果、今回破損した羽根（翼）のほか、他の羽根の取付部にも折損、ひびを確認。

確認した折損、ひびは電気事業法に基づく技術基準に適合しないものであり、中部電力㈱に対して引き続き徹底した調査を行うよう求めた。

また、同機と同型式の蒸気タービンは、志賀原子力発電所第2号機において使用されているため、北陸電力㈱に対してタービンの羽根の点検を行うよう指示。

当院としては、今後も詳細な原因究明等の調査を進め、その進捗に従い、再発防止策や必要に応じたその他の所要の対応をすることとしている。

### 3. 第19回検査の在り方に関する検討会開催（7月5日）

原子力安全・保安院は、本日、総合資源エネルギー調査会原子力安全・保安部会第19回検査の在り方に関する検討会を開催。検査の在り方に関する検討会中間報告書（案）などが議題。

### 4. 耐震・構造設計小委員会（第6回）開催（7月5日）

原子力安全・保安院は、本日、総合資源エネルギー調査会原子力安全・保安部会耐震・構造設計小委員会（第6回）を開催。①新耐震指針に照らした既設発電用原子炉施設等の耐震安全性の評価及び確認や②女川原子力発電所における宮城県沖の地震時に取得されたデータの分析・評価および耐震安全性評価などが議題。

以上